

全店のロビーに地域のハザードマップを掲示 ～ 防災に関する情報収集の一助として ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、全86店舗のロビーに地域のハザードマップを掲示しています。

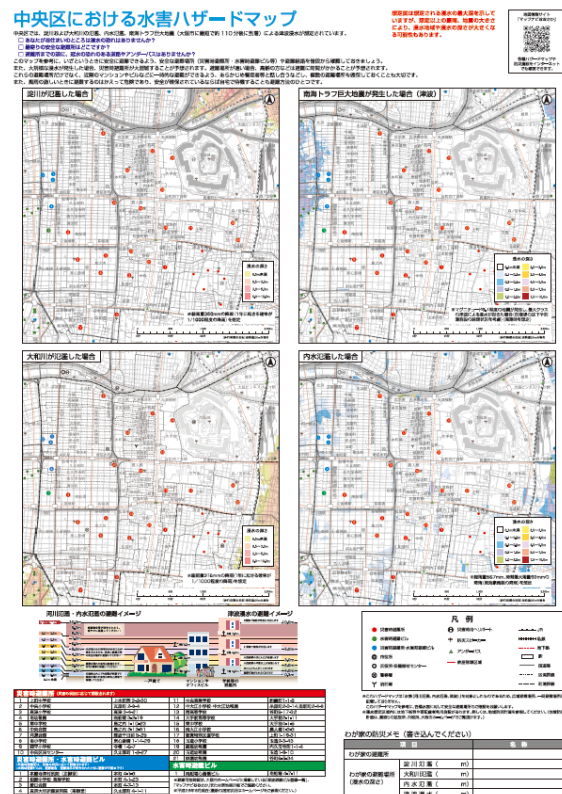
近年、台風や大雨などにより経験したことのない甚大な被害が発生し、災害情報の収集をはじめとした防災対策がますます重要となっています。当金庫においても、お客さまに身近な防災情報を再認識していただき、防災意識を高めていただけるようハザードマップを掲示しました。

当マップは、各自治体が発行しているもので、近隣の河川が氾濫した場合の浸水予想エリアや避難場所・経路など地域の地形や地盤等の特性に応じた情報がわかりやすく記載されています。

当金庫は、今後も地域の防災情報の発信等に取り組み、地域の防災意識の向上に取り組んでまいります。



掲示中のハザードマップ（本店営業部）



以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

